



施設長トーク 年の瀬を迎えて

一年の最後の月となる年の瀬12月を迎えました。この「年の瀬」という言葉の「瀬」には、川の浅い箇所、流れの速い場所という意味があり、船で通る際、行く手を阻む困難な場所を指し、転じて「支払いがたまって困っている状態」や「支払いをしないと食事や暖を取ることが出来なくなる」ことになぞらえているのが語源と言われています。さて、日本のおとぎ話の一つに「笠地蔵」があります。年の瀬に餅すら買うことができない老夫婦が登場する昔話です。おじいさんは、作った菅笠を売りに街に出かけましたが、一つも売れずにあきらめて家に帰る際、地蔵様を見つけ売れ残りの笠を地蔵様にかぶせ、自分の手ぬぐいもお地蔵様にかぶせ、何も持たずに家に帰りました。待っていたおばあさんは、おじいさんに「それはよいことをした」と餅が手に入らなかったことを責めませんでした。寝静まった夜中に地蔵様が贈り物にコメや餅などをくださり老夫婦は、良い正月を迎えることができました。というお話をよくご存じのことと思います。このお話は、正しい行ないをする者は、救われるという仏教観に基づいているのかもしれませんが、親が子に語り継いでいく徳を教える大切な要素があるのではないのでしょうか。

年の瀬にこたつを囲み、親子でこんな昔話を伝える良い機会かもしれません。家の大掃除、おせち料理、クリスマスと忙しいばかりではなく、年の瀬を、人間味を取り戻す良い機会にしたいものです。

今年も年が暮れようとしています。ご支援をいただいた多くの皆様に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。来年も皆様方のご多幸を祈念いたします。

多機能型障がい福祉サービス事業所「えーる油山」管理者 小関 正利

**なかま** CHANNEL ~いもほり~

フェイスブックでもお伝えしていますが、仲間たちみんなでさつまいもを収穫しました。ちゃんと実っているかハラハラドキドキでしたが、仲間たちが掘り出すと立派なおいもが出てきました。そのさつまいもを使って“ナニカ”を作りたいと思います。また、フェイスブックでも報告します！お楽しみに～！（支援員 並木）



サービス管理責任者より ~地域防災訓練に参加して~

11月19日に堤公民館で東油山1丁目防災訓練があり、えーる油山の職員5名が参加しました。当日は、1丁目の住民の皆さまが70名近く参加されました。各班に分かれて、水消火器を使った消火訓練や心肺蘇生とAEDの使い方講習、防災グッズの紹介等行なわれ、とても充実した内容でした。城南消防署の方からは、公民館は地域の一時避難所としての役割もあり、こうした訓練がとても大事ですとお話がありました。(サービス管理責任者 佐々木)

\* 支援部だより \*

2018カレンダーを販売していてうれしいことがありました！！カレンダーをお届けした後、受け取った代金と一緒にお手紙が入っていました。「ありがとうございます。来年1年カレンダーを見ながらのしく過ごします。」とありました。仲間にも伝えましたが、職員一同「がんばりがいがあるね、励みになるね。」と語り合ったところでした。仲間たちの表現をよりたくさんの方々に知っていただくことができ、さらに楽しみにしているとおっしゃっていただけたことをとてもうれしく思います。(支援部 岡村)

◇12月の予定

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 2日 上長尾名店街もちつき(バザー出店) | 15日 クリスマス会       |
| 7日 ハローデイ春日店バザー       | 21日 ハローデイ周船寺店バザー |
| 9日 ときめきマーケット(木の葉モール) | 26日 ボンラパス薬院店バザー  |
| 12日 ハローデイ橋本店バザー      | 28~1/3 冬季休暇      |
| 14日 ハローデイ姪浜店バザー      |                  |

